

平成 23 年度岩手県競馬組合の収支見通し等について

平成 24 年 2 月 15 日
財 政 部

- 1 平成 23 年度岩手競馬の収支見通しについて
- 2 平成 24 年度の事業計画 (案) について

1. 平成23年度岩手競馬の収支見通しについて

(1) 第3期まで(第3回水沢競馬まで (5/14~1/9))の発売成績等について

2/15 全員協議会資料
(2/10競馬組合運営協議会資料より)

発売額の計画達成状況

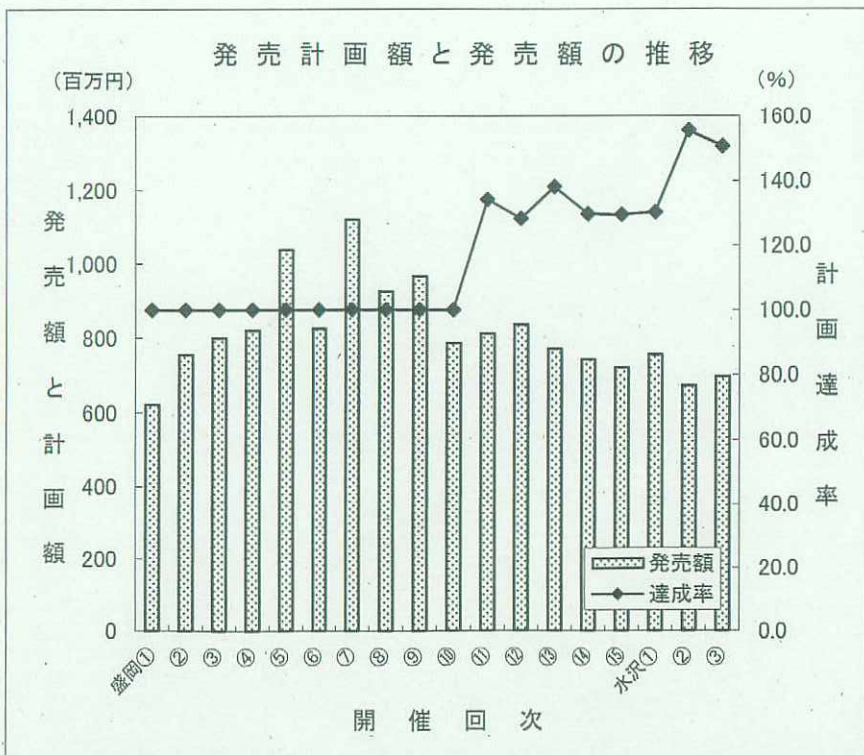
(単位:百万円、%)

区分	岩手競馬発売額 (H23.5.14~1.9)				広域受託 発売額 (H23.5.2 ~1.9)
	自場発売	広域委託 発売	インター ネット発売	計	
計画額(a)	7,366	3,492	2,207	13,065	4,808
実績額(b)	8,394	3,875	2,379	14,648	4,876
差額(b-a)	1,028	383	172	1,583	68
達成率	114.0	110.9	107.8	112.1	101.4

(参考) 発売額・入場者数の内訳(対前年度比較)

(単位:百万円、%)

区分	発 売 額			入 場 者 数				
	H23	H22	前年度比	H23	H22	前年度比		
自 場 発 売	水沢競馬場	1,873	2,346	79.9	38,949	123,751	31.5	
	盛岡競馬場	2,348	1,911	122.9	202,791	125,085	162.1	
	宮古場外	※6/4~	347	215	161.4	-	-	-
	釜石場外	-	458	皆減	-	-	-	
	種市場外	581	515	112.7	-	-	-	
	安代場外	294	289	101.7	-	-	-	
	大通場外	222	233	95.5	-	-	-	
	県内施設・計(a)	5,665	5,967	94.9	241,740	248,836	97.1	
	横手場外	776	799	97.2	-	-	-	
	山本場外	336	348	96.8	-	-	-	
発 売 計 画 達 成 率	三本木場外	※6/25~	1,106	1,114	99.3	-	-	
	十和田場外	333	364	91.3	-	-	-	
	つがる場外	93	95	97.9	-	-	-	
	福島場外	-	47	皆減	-	-	-	
	東京場外	85	84	101.1	-	-	-	
	県外施設・計(b)	2,729	2,851	95.7	-	-	-	
	計(a+b)	8,394	8,818	95.2	241,740	248,836	97.1	
	広域委託発売	3,875	4,126	93.9	-	-	-	
	インターネット発売	2,379	2,429	97.9	-	-	-	
	合 計	14,648	15,373	95.3	241,740	248,836	97.1	



注1 発売額及び入場者数の前年度比について、盛岡開幕から同じ延べ日数に当たる開催日まで(104日間)の比較であり、前年度には、今年度発売のない施設分(釜石、福島 505百万円)、期間分(宮古、三本木207百万円)、レース分(南部杯 500百万円)を含む。なお、これら被災等の影響を除いた前年度比は103.4%。

2 入場者数について、実数は競馬開催場における入場者数を記載していること。

3 端数調整等により、計数に異動が生ずる場合があること。

(2) 平成23年度の収支見通し額

(単位:百万円、%)

区 分	現在計画額 (第1・2期実績及び以降の見込額)				第3期実績及び以降の 見込額(合計に第1・2期分含)			比 較			
	【第1・ 2期】①	【第3期】 ②	【第4期】 ③	合計ア (①+② +③)	【第3期】 ④	【第4期】 ⑤	合計イ (①+④ +⑤)	第3期実績		年間見込積 増減額 イーア	
	5/14 ~9/26	9/27 ~1/9	1/10~		実績 9/27 ~1/9	見込 1/10~		増減額 ④-②	増減率 ④/②		
岩手競馬 発売収入	自場	4,697	2,668	0	7,366	3,697	0	8,394	1,029	138.6	1,028
	広域委託	2,487	1,006	0	3,492	1,388	0	3,875	382	138.0	383
	インターネット	1,470	736	0	2,207	908	0	2,379	172	123.4	172
	計(A)	8,654	4,410	0	13,065	5,993	0	14,648	1,583	135.9	1,583
その他収入計(B)		721	759	433	1,913	764	434	1,918	5	100.7	5
収入合計(C=A+B)		9,375	5,169	433	14,978	6,757	434	16,566	1,588	130.7	1,588
売上原価(D)		7,036	3,529	11	10,576	4,787	12	11,835	1,258	135.6	1,259
総利益(E=C-D)		2,339	1,640	422	4,402	1,970	422	4,731	330	120.1	329
販売費及び管理費(F)		2,050	1,275	956	4,280	1,611	944	4,604	336	126.4	324
営業損益(G=E-F)		289	365	△ 534	122	359	△ 522	127	△ 6	—	5
営業外費用(支払利息)(H)		2	1	2	5	1	2	5	0	—	0
経常損益(I=G-H)		287	364	△ 536	117	358	△ 524	122	△ 6	—	5
特別損益	特別利益(J)			523	523		506	506			△ 17
	特別損失(K)			556	556		546	546			△ 10
当期利益(I+J-K)		287	364	△ 569	84	358	△ 564	82	△ 6		△ 2

注 1 岩手競馬発売収入(A)については、第3期の実績で計画比15億8千万円(+35.9%)の増。
【水沢競馬開催期間(12/10~1/9)は、天候に恵まれ前年度を上回る発売】

2 総利益(E)では、年間で3億2千9百万円の増額を見込んだ。

3 販売費及び管理費(F)については、3期までの収益の状況を活用して、「事業収支改善計画」に基づく取り組みを前倒して実施。

○具体的には次の内容を計上した。

- (1) 大型映像装置の更新(水沢競馬場テレトラック、三本木・安代場外発売所)
- (2) (現行)トータリゼータシステムの精算費の支払い
- (3) 平成24年度以降の設備更新費、退職金の増嵩に備えて基金の積立て

4 当期利益(I+J-K)では、2百万円減額し年間で8千2百万円を確保。

5 端数調整等により、合計が一致しないこと。

2 平成 24 年度事業計画（案）について

1 基本方針

全国の競馬ファンに感動を与えられる魅力あるレースを提供することにより、岩手競馬を復興し、ひいては大震災からの復興にも貢献することを目標に掲げ、全ての関係者が心をひとつに取り組みます。

(1) 岩手競馬の魅力向上

岩手はもとより全国のお客様に岩手競馬を楽しんでいただくため、競馬の原点である魅力あるレースの提供に、全力で取り組みます。

「南部杯」(Jpn I)を始めとしたダートグレード3競走や、グランダム・ジャパンなどの全国シリーズ競走(重賞競走)、復興祈念レース「絆カップ」(重賞競走)を施行するほか、重賞競走や芝競走、レース・バリエーションの充実などに取り組みます。

また、騎手とファンとの交流などの来場促進イベントの実施や、ファンサービスの充実などにより、岩手競馬の魅力向上を図ります。

(2) 新たな発売チャネルの整備

本年10月からのJRA・PAT※会員への勝馬投票券発売開始を契機に、多くのJRAファンに岩手競馬を楽しんでいただけるよう、発売の対象となる基幹競走(グレード競走、重賞競走)の充実や芝レースの拡大を図るとともに、全国の競馬ファンに向けた岩手競馬の情報発信を強化します。

また、大震災により廃止した釜石場外発売所に代わる新たな発売所について、平成25年度当初の開設を目指し、民間事業者を公募します。

※ Personal Access Terminal (個人用アクセス端末)の略で、JRAが提供する会員向けのサービス。パソコン・携帯電話・プッシュホン電話を利用して、JRAが主催する中央競馬の全レースの勝馬投票券を購入することができる。会員は全国に約300万人。

(3) 岩手競馬の再生

大震災からの早期復興を果たし、更には、新たな岩手競馬を再生することが、支援をいただいた全国の関係者やファンの皆様への期待に応えることにつながることから、昨年8月に策定した「岩手県競馬組合競馬事業収支改善計画」(以下「事業収支改善計画」といいます。)に基づき、低コスト経営体質への転換や営業体制の強化等を推進し、安定的な事業運営が可能な新たな経営構造の構築を進めます。

2 開催日程及び競走計画

平成 24 年度の競走は、22 開催、年間 125 日、1 日 11 レースを基本に、重賞競走、特別競走及び一般競走を合わせて、年間概ね 1,360 レースを実施します。

【開催場別開催回数】

開催場	平成 24 年度計画 (予定)							平成 23 年度			
	4 月～11 月上旬※					以降～	場別計	合計	場別計	合計	
水沢競馬場	3 回		2 回		2 回		6 回	13 回	22 回	3 回	18 回
盛岡競馬場		2 回		3 回		4 回		9 回		15 回	

※ 4 月～11 月上旬までの期間：2～4 開催ごとに開催場を移動。

【開催日程及び競走計画の主な概要】

項 目	平成 24 年度計画 (予定)	平成 23 年度
開催回数・日数	○ 22 開催 ※「土・日・月」を基本に開催 ○ 125 日	・ 18 開催 ・ 104 日
レース数	○ 年間概ね 1,360 レースを基本 ○ 1 日 10～11 レースを実施	・ 1,138 レース
ダート グレード競走 (暫定※)	○ 南部杯 (Jpn I) : 10/8 (祝月) ・ 盛岡競馬場、1,600m (サラ系 3 歳以上) ○ マーキュリーカップ (Jpn III) : 7/16 (祝月) ・ 盛岡競馬場、2,000m (サラ系 3 歳以上) ○ クラスタールカップ (Jpn III) : 8/14 (火) ・ 盛岡競馬場、1,200m (サラ系 3 歳以上)	・ 10/10 J R A 主催により東京競馬場で施行 ・ 7/18 施行 ・ 8/16 施行
重賞競走	○ 年間 29 レース (8 レース増)	・ 21 レース
特別競走	○ 年間概ね 60 レース	・ 61 レース
芝競走	○ 年間概ね 50 レース (盛岡 9 開催)	・ 59 レース (盛岡 15 開催)

※ ダートグレード競走は、2 月に開催される「日本グレード格付け管理委員会」において最終的に決定されることから、それまでの間は「暫定」としての取扱いとなります。

(1) 開催日程 (以下☆印は、新規又は復活する取組。)

お客様の来場しやすさ、参加しやすさを考慮した日程、レースの配置に努めます。

① わかりやすく来場しやすい開催日

岩手競馬ファンに浸透している「土・日・月曜日」を基本としたわかりやすい開催日程とするとともに、より多くのお客様に来場いただけるよう、ゴールデンウィークや年末年始など、一部の期間においては、祝日などを取り込んだ日程とします。

② 薄暮競馬の復活 (☆)

より多くのお客様に参加いただけるよう、J R A の発走時刻や季節毎の日没時間に配慮した、薄暮競馬を復活実施します。

(2) 競走計画

岩手競馬がこれまで培ってきた歴史と伝統をふまえ、ダートグレード競走を頂点としたレース体系を構築し、多くのファンに感動を与えられる魅力あるレースを提供します。

また、J R A ・ P A T 会員に岩手競馬のレースを楽しんでいただくための見直しを行います。

① ダートグレード競走・重賞競走の施行 (☆)

グレード競走については、昨年度、J R A により東京競馬場で施行された「南部杯」(Jpn I) を盛岡競馬場において復活施行するほか、「マーキュリーカップ」(Jpn III)、「クラスタールカップ」(Jpn III) を引き続き施行します。

また、JRAファンにも、できるだけ多くの岩手競馬のレースを楽しんでいただけるよう、10月以降の特別競走2レースをPAT発売が可能となる重賞競走に格上げするなど、全国交流を含めた重賞競走を大幅に充実し、計29競走（前年度比8競走増）を実施します。

② 全国シリーズ競走の施行（☆）

全国的に注目度の高い3つのシリーズ競走に対応した重賞競走を引続き施行します。

なお、平成24年度は、新たに「プリンセスカップ」（2歳牝馬限定競走）を全国交流競走とするとともに重賞競走に位置づけ、世代別重賞シリーズ「グランダム・ジャパン」に参画します。

シリーズ	施行競走
・グランダム・ジャパン （世代別牝馬重賞シリーズ）	留守杯日高賞（3歳1,600m） ビューチフル・ドリーマーカップ（オープン1,900m） プリンセスカップ（2歳1,400m）
・ダービーウィーク	岩手ダービーダイヤモンドカップ（3歳2,000m）
・未来優駿	若駒賞（2歳1,600m）

③ 芝競走の充実

地方競馬唯一の芝コースを有する盛岡競馬場の開催を、JRA・PAT会員への発売が開始される10月以降1開催増とするとともに、芝コースを活かした多様なレースを提供します。

④ 2歳競走の充実（☆）

2歳競走については、特別競走の賞金を増額し、重賞競走への格上げを行うほか、重賞競走は全てJRA認定競走とするなど、充実を図ります。

⑤ ホッカイドウ競馬との連携強化（☆）

これまで隔年で実施してきた、ホッカイドウ競馬との2歳馬交流競走（特別競走／「知床賞」、1,600m）は、毎年岩手開催としたうえで、特別競走から重賞競走に格上げし施行します。

3 お客様サービス計画

県内をはじめ、全国の多くのお客様に岩手競馬を楽しんでいただけるよう、来場促進イベント等を実施するとともに、多様な情報を発信します。

特に、10月からはJRA・PAT会員への発売が開始されることから、全国スポーツ紙やインターネット等の広報媒体を活用し、全国に向けた情報発信を強化します。

(1) 多くのお客様に来ていただき、楽しんでいただく（競馬への参加促進策）

多くのお客様に来場していただき、もっと岩手競馬を楽しんでいただけるよう、テレビ・ラジオ・インターネットなど各種媒体を組み合わせた効果的、継続的な告知・情報発信を行うほか、繰り返しご来場いただけるようなイベントの開催やサービス提供に努めます。

【告知・PR・情報発信】

- ダートグレード3競走及び重賞競走を核としたシリーズ化による重点的広報の展開
- テレビ、ラジオ、インターネットを連動させた継続的な告知・情報発信
- 地元マスコミ、全国スポーツ紙、インターネット事業者等への積極的なニュースリリース等による岩手競馬のパブリシティの強化

【イベント展開・サービス提供】

- 重賞競走のシリーズ化に連動したイベントや、地元企業、市町村観光協会等とのタイアップによる協賛イベントの実施
- マスコミや構成団体とのタイアップ等による、大震災被災地等からの競馬観戦ツアーの実施

- ファンと騎手との交流や、ファン感謝デー、レディースデー等のイベントの実施
- 特別観覧席ポイントサービスの実施

(2) 多くのお客様に買っていただく（発売促進）

より多くのお客様に岩手競馬を買っていただけるよう、10月のJRA・PAT会員への発売開始にあわせ、インターネット等を活用した情報提供の強化等の取組を行うほか、勝馬投票券購入者を対象としたプレゼント等、勝馬投票券購入につながる取組を積極的に実施します。

【発売促進策】

- 新たに開始されるJRA・PAT会員への発売や、広域委託発売、インターネット発売の促進のため、インターネットによる勝馬投票券購入を促進する情報発信の強化、全国スポーツ紙への馬柱掲載等の実施（☆）
- 勝馬投票券購入者へのプレゼント、各種キャンペーンの実施
- インターネットによる参加型イベントの実施

4 岩手県競馬組合経営方針

大震災に際し支援をいただいた関係団体やファンの皆様の期待に応え、岩手競馬が大震災からの復興を果たし、「事業収支改善計画」に基づいて施策を着実に推進することにより、安定的な事業運営が可能となるよう、組合の新たな経営構造の構築に努めます。

(1) 組織運営の方針

お客様の声の積極的な反映や、岩手県競馬組合運営協議会による発売額の検証など、参加型の組織運営を基本としつつ、JRA・PAT会員への発売促進や他の主催者等への営業活動を積極的に展開するため、組織体制を整備します。

① 参加型の組織運営

岩手競馬の復興に向け、組合公式ホームページやアンケート調査などにより、お客様から広くご意見、ご提言をいただき、事業運営に反映します。

また、岩手県競馬組合運営協議会※において、引き続き、発売額を検証しながら、持続可能で安定的な事業運営に向けた協議を行い、岩手競馬に携わる関係者が心をひとつにして事業運営に取り組みます。

※ 平成19年度設置。競馬組合、構成団体及び競馬関係団体（馬主会、調騎会、厩務員会）等で構成。

② 営業活動の強化等の組織・体制の整備

JRA・PAT会員への発売開始を見据えた発売促進等の積極的な対応や、他の競馬主催者、企業等に対し、岩手競馬の発売促進に向けた営業活動の強化を図るため、組織を再編し、新たに「広報営業課」を設置するとともに、新たに、組織横断的な事業推進の仕組みとして「事業統括本部」を設置し、事業を戦略的に推進します。

また、大震災により廃止した釜石場外発売所に代わる新たな場外発売所について、平成25年度当初からの開設を目指し、民間公募の手続きを進めます。

(2) 主要な施策の取組方針

「新しい岩手県競馬組合改革計画」（平成18年11月）の収支均衡ルールの下、低コスト経営体質への構造転換を図りつつ、競馬開催の本質である馬資源や騎手の確保に向けた取組を進めるほか、老朽化施設の更新など、事業収支改善計画の施策を着実に推進します。

① 発売額確保の取組

平成23年度の発売動向及び事業収支改善計画で見込んだ発売すう勢をもとに、平成24年度の発売収入計画額を定め、発売額の確保に努めます。

ア 岩手競馬発売

自場発売：魅力あるレースの提供はもとより、イベントやサービスの提供により来場促進を図り、発売額の確保に努めます。

広域委託発売：他主催者との連携強化、積極的な営業活動の展開により、全国の各地で、多くのレース発売ができるよう努めます。

インターネット発売：新たに購入が可能となるJRA・PAT会員を意識した情報発信の強化など、広報活動の充実強化に努めます。

イ 広域受託発売

年間を通して、お客様に競馬を楽しんでいただくとともに、収入を確保するため、引き続き、岩手競馬非開催日に他地区地方競馬の発売を行います。

また、昼間競走とナイター競馬のリレー発売にも積極的に取り組み、お客様のライフスタイルや、ニーズに合わせた参加機会の提供に努めます。

② 新たな経営構造構築の取組

競馬関係者の理解や協力のもと、低コスト体質への構造転換を進めるとともに、平成23年8月に策定した、事業収支改善計画に掲げた施策を着実に推進することを基本とし、新たな経営構造を構築するための施策に取り組みます。

ア 競走関係

○ 魅力あるレースを提供するため、限られた予算の中にあっても平成22年度の賞典費の水準を確保するほか、減少傾向にある騎手の確保対策の一環として、騎乗手当を引上げ、全国平均に近づけます。

○ JRA・PAT発売の対象となる基幹競走を充実するため、新たに、10月以降の特別競走2レース（栗駒賞、白嶺賞）を重賞競走に格上げします。

○ 2歳特別競走の賞金を増額し、重賞競走への格上げを行うなど、2歳馬資源の確保のための取組を強化します。

イ 競馬事業運営等

○ 地方競馬共同トータリゼータシステムの運用開始や発売窓口の自動機化等による経費削減により、更なる低コスト体質への構造転換を進めます。

○ 施設等整備基金を活用し、老朽化設備の更新等を着実に進めるとともに、騎手確保に向けた新たな取組などにより、安定的な経営基盤づくりを進めます。

○ JRA・PAT会員への発売開始を見据え、全国の競馬ファンを対象としたネットによる情報発信の強化や広報活動の展開など、戦略的な取組を推進します。

収支計画額

(単位:百万円、%)

項目		平成23年度		平成24年度 計画額 ③	増減額		
		当初計画額 (当初予算) ①	最終見込額 ②		③-①	③-②	
岩手競馬 発売収入	自場発売	10,174	8,394	8,665	△ 1,509	271	
	広域委託発売	4,878	3,875	4,651	△ 227	776	
	インターネット発売	2,895	2,379	3,688	793	1,309	
	計(A)	17,947	14,648	17,004	△ 943	2,356	
その他 収入	広域受託協力金	1,199	1,050	1,128	△ 71	78	
	その他	405	868	396	△ 9	△ 472	
	計(B)	1,604	1,918	1,524	△ 80	△ 394	
収入合計 (C=A+B)		19,551	16,566	18,528	△ 1,023	1,962	
売上原価 (D)		14,633	11,835	13,773	△ 860	1,938	
総利益 (E=C-D)		4,918	4,731	4,755	△ 163	24	
販 売 費 及 び 管 理 費	競走関係費(賞典費)	1,610	1,174	1,666	56	492	
	事 業 運 営 費	施設・情報システム費	1,298	1,488	1,061	△ 237	△ 427
		開催労務費	616	462	568	△ 48	106
		営業販売費	136	124	151	15	27
		人件費	273	292	274	1	△ 18
		その他販売・管理費	952	1,064	1,001	49	△ 63
		小計	3,275	3,430	3,055	△ 220	△ 375
	計(F)	4,885	4,604	4,721	△ 164	117	
営業損益 (G=E-F)		33	127	34	1	△ 93	
営業外費用(支払利息)(H)		23	5	3	△ 20	△ 2	
経常損益 (I=G-H)		10	122	31	21	△ 91	
特別損益	特別利益 (J)	136	506	95	△ 41	△ 411	
	特別損失 (K)	136	546	106	△ 30	△ 440	
当期利益 (I+J-K)		10	82	20	10	△ 62	

注 端数調整等により、内訳の計と合計が一致しない場合があること。